

「まちの地図でまちおこし」 実践レポート

若者中心の市民活動団体「おでかけかめやま」では、亀山高等学校2年生のインターンシップ制度（就業体験制度）を活用し、「亀山まちの地図社」という会社として、若者視点での「まちの地図」を11月11日から15日の5日間で作成しました。これは10月の「きらめき亀山21」でも“若者を育てる新企画”として話し合いました。（Page 2 参照）



「亀山まちの地図社」のルール

1. 高校生を社員とし、大人たちを顧問とする。顧問は社員の地図作りを全力でサポートする。
2. 社員のアイデアや地図に関しての否定は絶対にしてはいけない。

初日はワークショップから

自己紹介から始まり、ワークショップで「自転車に乗って行けるデートスポット」「お年寄りと和やかに話をする地図」など、面白いアイデアを出し合いました。

2日目 3日目は自転車で市内調査

自転車で市内を回り、公園や駅前のお店に立ち寄って、地図に掲載するスポットを選びました。顧問である大人たちは見守るだけで、高校生が自発的に意見をまとめ、企画を進めました。夕刻には市民協働センター「みらい」の前で「おでかけかめやま」の恒例行事である「あいさつ運動」を行いました。



4日目 一気に製作

お昼には「亀山ラーメン」をみんなで食べてから、今日中に地図を完成させようという熱い思いで、遅くまで残り、悪戦苦闘しながら全力で作業を進めました。

5日目 作品を披露

がんばって作り上げた「まちの地図」を「これは若者の視点で作った亀山市の地図です。見て下さい。」とコメントを添えて、櫻井市長に自信满满でお渡ししました。



※この地図は、おでかけかめやま（野村）、市民協働センター他市内各所で入手できます。



☆市民交流の日 毎月21日19:30～21:30 ところ:市民協働センター「みらい」☆

10月21日のテーマ:『若者を育てる新企画～まちの地図でまちおこし～』

10月のきらめき亀山21では、若者を育てる企画について話し合いました。

その中で、市民活動団体の「おでかけかめやま」から、自ら率先して「まちおこし」をする若い人材を育てるため、高校生4人をインターンシップ(就業体験)として受け入れること(11月11日～15日)が紹介されました。体験では、高校生の「特別な視点」で、まちを歩くのが楽しくなるような地図を作り、必要な経費は高校生が市内企業を回って集めます。このような取り組みは、全国でも初めての試みとのことです。

参加者からは「どのような地図を作らせたいか事前にイメージ(アイデア)を用意し、取り組ませた方が良いのではないか」などの意見が出ました。しかし、「おでかけかめやま」では、高校生主体で地図を作っていく過程を大切にしたいと考え、数人のファシリテーション・スタッフを同伴させて、アドバイスすることでした。

また、「大変良い企画である」「私たちにできることがあったら言って欲しい」など、未来の亀山市を担う若い人材の育成に意欲的な意見があり、大変有意義な時間となりました。

きらめき亀山21は、誰もが自由に話し合いに参加できる市民交流の場として開催しています。市民一人ひとりが主役となったまちづくりの実現に向け、市民活動について話し合いませんか?

問合せ先:市民文化部 文化振興局 共生社会推進室 TEL 0595-84-5066



☆市民交流会実行委員会(B-1グランプリへ市民活動視察)☆

市民交流会実行委員会では、他市の活動状況等情報交換し、今後の亀山市の活動に活かせるようにしたいと考えています。そこで、一般公募した市民と11月10日に豊川市で開催された、まちおこしの祭典である「B-1グランプリ」へ行き、各市団体の活動を視察してきました。

視察時のバスの中では、自己紹介を行い、過去の亀山みそ焼きうどん本舗の取り組みをまとめたDVDを見て、交流を深めました。

11月10日午前中は生憎の雨で、会場が土であったため足元が悪く、視察が困難でした。しかし、午後には雨もあがり、各市団体の熱いPRなど様々な活動を見ることができました。

参加者からは、「みんな生き生きとしてよかった。」「おもてなしの心が大切であると改めて感じた。」との声がありました。今回の視察で得たことを、2月に開催予定の第13回市民交流会で意見交換していただきます。みなさん、ぜひご参加ください。

問合せ先:市民文化部 文化振興局 共生社会推進室 TEL 0595-84-5066





☆ あの一と、このひと ☆

このコーナーは、市民活動団体などで活動している方に、活動を始めたきっかけや活動の内容、今後の展開、これから活動を始め方へのアドバイスなどを率直なことばで語っていただきます。

今月は、『はじめのいっぽ』の皆さんです。

私たちは、日本語指導のボランティアグループです。

亀山市では、十数年前から、市内で暮らす外国人の方が急増してきました。生活習慣や文化も母国と日本とは大きく異なり、母国語と日本語の壁も厚く、生活する上で大変苦労をしています。

そのような悩みや心の負担を少しでも軽くしようと、亀山市が中心となり、2000年5月から日本語教室を運営してきました。

毎週土曜日19:00～20:30に、青少年研修センターで日本語教室を開き、指導にあたっています。

指導のスタッフは20代の若者から60代のシニアまで17名。長く活動を続けているスタッフもたくさんいます。

現在、教室は30名ほどで、日本語のレベルに応じた3クラスに分けて、日本語の学習をしています。時には調理実習や防災学習も行い、異文化理解や安心・安全な生活のための取り組みも行っています。

生徒達はとても熱心に日本語学習に取り組み、日々その成果もあらわれてきています。

その熱意を受け、私たちスタッフも「次はもっとわかりやすい授業を！」と、毎週、気持ちを新たにして研修を深めています。

はじめのいっぽ 代表 高橋 倫子





アート亀山2013 全国からの若者が集う!

今年で6回目となる「アート亀山2013」が、東町商店街で10月27日から約1週間開催されました。亀山市の文化年イベントでもある今回は、全国から応募を受け付け、何人かは亀山市内の個人のお宅に泊まり込んで作品を制作し、展示しました。そのうちの一つである、コウモリ傘を集めた作品「カサブランコ」は、市内の皆さんから提供いただいた約60本の傘が材料になりました。

＜アート亀山2013実行委員会の森敏子さんからのメッセージ＞

「アート亀山2013」無事、終了いたしました。

来場者の皆様、ご協力いただきました皆様、本当にありがとうございました。皆様のお陰で素晴らしい時間を持つことができました。心より感謝申し上げます。

特に、全国から亀山市にお越しいただいた若いアーティストさん、ありがとうございました。

人口約5万人の街で開催される現代アート展。自慢できるのは、豊かな自然と人の気持ち。この亀山市で展示していただいたことが、皆様の人生の中のひとつの「想い」として残りますように、皆様との出会いを大切に、次のアートシーンに繋いでいきたいと考えています。

ありがとうございました。



ご当地グルメの祭典B-1グランプリに出場



市民活動団体「亀山みそ焼きうどん本舗」は、今年も約40名のボランティアを集め、11月9・10日に豊川市で開催されました全国大会に出場しました。

豊川市の会場は2日間で約58万人の来場者があり、何処のブースも長蛇の列となり、亀山みそ焼きうどんは、一時は2時間待ちの状態となるほどの盛況でした。

待ち時間を退屈させないようにと、今回は「謎のビールおじさん」が絶妙なトークでお客様との掛け合いを披露し、笑いを誘いました。2日目は雨天となりましたが、来場者は減ることもなく、また、亀山市からバスで駆け付けた市民交流会の皆さんの激励も受け、チームの団結で2日間の激務を終えました。

全国規模の大会は、大変ですが他では味わえない達成感があるビッグイベントです。全国大会のハードルは高く、入賞は果たせませんでした。 “楽しみながら亀山市を全国に売る”それがB-1グランプリの醍醐味なのです。これからはより若い世代の参加を期待します。

亀山みそ焼きうどん本舗 伊藤





バリフタウン推進の会 甲冑(かっちゅう)を亀山市長に贈呈

市民活動団体「バリフタウン推進の会」では、高齢者の生きがい作りの一つとして甲冑づくりの指導をしています。今回、櫻井市長に甲冑一領を贈呈しました。また、「東海道関宿街道まつり」の時代仮装コンテストでもメンバーがそれぞれ自慢の手作り甲冑を着用してパフォーマンスを演じ、堂々2位に輝きました。



心のバリアフリーへ5本の矢

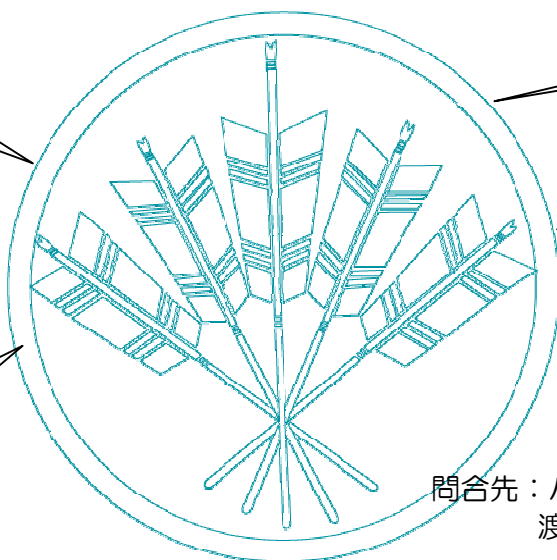
コットンプロジェクト
(綿の栽培と加工)

車椅子レクダンス
普及活動

スポーツ吹き矢の普及
(地域の大人と学童)

心のバリアフリー
マップ作成

手作り甲冑教室
(イベントでの試着体験)



問合せ先：バリフタウン推進の会
渡邊 TEL 090-4265-2047

かめやま文化年2014がはじまります！

かめやま文化年プロジェクトって？

かめやま文化年プロジェクトとは、3年に一度を目途に、まちをあげて、様々な文化に関する取り組みを集中して開催します。

プロジェクトのテーマは、『「みつめる」・「つながる」・「かがやく」』です。これら3つのキーワードを循環させることで、地域の文化力のステージを年々上昇させていきます。

かめやま文化年2014(平成26年度)のキーワードやねらいは？

今回のキーワードは、「みつめる」です。市民の皆さんが、「暮らしの中の文化」に「気づく・学ぶ・再発見」することにより、文化の魅力や価値観を一緒に共有することを最大の目標としています。

現在、かめやま文化年2014運営委員会にて内容を検討中ですので、今後、広報などでお知らせします。



かめやま文化年 イメージキャラクター
カメのぶんちゃん

問合せ先：市民文化部 文化振興局 文化スポーツ室 TEL 0595-84-5079



市民活動なんでも相談所を開設しています!

毎月第4月曜日に、市民活動に関するあらゆる相談に応じる「市民活動なんでも相談所」を開設しています。予約優先で相談を受け付けますので、相談を希望される人は、お申し込みください。

☆過去の相談内容☆

「どのように活動等のPRをするのが効果的かわからない。」
「NPOの組織の作り方がわからない。」
「どのように資金を確保していったらよいのか。」
など…



☆12月のなんでも相談所☆

と き : 12月23日(月・祝) ①13:00～14:00 ②14:30～15:30 ③16:00～17:00

と ころ : 市民協働センター「みらい」2階 第2会議室

相談員 : 津市NPOサポートセンター 理事長 川北 輝氏

申込方法 : 相談を希望される方の氏名、住所、電話番号、希望日時、相談内容を記入のうえ、直接申込先に提出して頂くか、FAXにてお知らせください。※先着順で受け付けます。

申込先、問合せ先 : 市民文化部 文化振興局 共生社会推進室

TEL 0595-84-5066、FAX 0595-82-9955

市民協働センター「みらい」受付 TEL 0595-84-5800

「あのひと、このひと」掲載団体を募集しています!

「あのひと、このひと」のコーナーは、市民活動団体などで活動している方に、活動を始めたきっかけや活動の内容、今後の展開、これから活動を始めようとする方へのアドバイスなどを率直なことで語っていただきます。

このコーナーに掲載することにより、多くの方に活動内容を周知することができ、団体の存在をアピールするチャンスとなります。新たな会員の加入のきっかけとなるメリットもありますので、ぜひご活用ください!

掲載を希望される団体は、下記までご連絡ください。

問合せ先 : 市民文化部 文化振興局 共生社会推進室 TEL 0595-84-5066



☆ 市民活動ニュースに掲載する情報・お便りを募集しています ☆

詳しくは、共生社会推進室 (Tel 84-5066、Fax 82-9955、Email : kyoseisyakai@city.kameyama.mie.jp)
又は、市民協働センター「みらい」(Tel 84-5800、Fax 84-5801、Email : mail@shimin-kyodo.sakura.ne.jp
東町一丁目8番7号)までご連絡ください。

編集作成 : 「きらめき亀山21」広報部 (問合せ先 : 亀山市 市民文化部 文化振興局 共生社会推進室 〒519-0195 三重県亀山市本丸町577番地)

市民活動ニュース配置場所 : 毎月21日市民交流の日・本庁ロビー・市民協働センター「みらい」・関支所・図書館・歴史博物館・医療センター・総合保健福祉センター「あいあい」・関町北部ふれあい交流センター・林業総合センター・鈴鹿馬子倶楽部・老人福祉センター・健康づくりセンター・青少年研修センター・各地区コミュニティセンター・亀山郵便局・亀山駅前郵便局・亀山駅・百五銀行亀山支店・市民のショップねこの館・茶気茶気・オアシス館・鈴鹿県民センター・みえ市民活動ボランティアセンター(津市)

ホームページ <http://shimin-kyodo.sakura.ne.jp/kirakame21/> 市民ネット <http://www.shimin-kyodo.sakura.ne.jp/shiminet/>
「きらめき亀山21」メーリングリストへの加入は「きらめき亀山21」HPより登録できます。